

令和7年5月26日

那賀医師会 会員各位

那賀医師会

地域医療担当理事 田中 賢

令和7年度 第3回公立那賀病院との合同勉強会のご案内

公立那賀病院との合同勉強会を下記のとおり行います。ご多忙中とは存じますが、多数のご参加をお願い致します。

記

日 時：令和7年6月12日（木）午後4時から

場 所：公立那賀病院 北別館 1階講義室

演 者：公立那賀病院 血液内科 古家 美昭 先生

演 題：「最近の悪性リンパ腫の動向」

抄 録：悪性リンパ腫は血液のがんの一種であり、その中でも半数程度を占める最大亜型である、びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫（DLBCL）の標準療法は長らく R-CHOP 療法（リツキシマブ＋シクロホスファミド＋ビンクリスチン＋アドリアマイシン＋プレドニゾロン）であった。様々な臨床試験が行われてきたが何十年もこれを凌駕するレジメンは登場しなかった。

最近になりビンクリスチンをポラツズマブベドチンに置き換えた pola-R-CHP 療法が登場し、臨床試験（POLARIX 試験）の結果、R-CHOP 療法に比較して無増悪生存期間が有意に延長することが明らかとなった。この試験結果を受けて、今後は R-CHOP 療法にかわって、pola-R-CHP 療法が標準療法になっていくだろう。その他のリンパ腫についてや当院での DLBCL の臨床的特徴や治療成績等(85 症例 観察期間 6 年 4 ヶ月)についても説明する。

※この勉強会は日本医師会生涯教育講座：1 単位

カリキュラムコード：（ 2 5 ）を申請中です。

※お手数ですが、B会員の先生方にもご案内下さいますようお願い致します。